

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年6月10日（金）5時間目

作業療法士による講座（オンライン授業）

学校法人 筑波学園 アール医療専門職大学 アール医療福祉専門学校

作業療法学科 専任教員 岩本 記一 様

（一般社団法人 茨城県リハビリテーション専門職協会より紹介）

岩本先生は、現場で働かれている時から、患者様やご家族に寄り添い、他職種の役割を理解し、患者様の声を他職種につなぎ、作業療法士の専門性を活かし、支援に携わっていました。

講座では、作業療法は、買い物、外に行く、仕事に行く練習など、自分が普段行っていることであり、特別なことではないことを学びました。また、作業療法士は、社会活動の現場でも活躍していて、本人と社会との接点を作る役割があることを学びました。片手だけでペットボトルの蓋を開ける体験では、患者様の立場を体験から考えていくきっかけになりました。また、自助具の紹介をはじめ、本人がもう一度作業できるように工夫して作成すること、作業することで元気になることを支援する役割があることを学びました。岩本先生のご経験から、「担当した患者さんが、できることが増え、退院できたときや「ありがとう」と言われた時、嬉しくなる」こと、多職種連携については、「相手の役割を知ることが大切で、大学では、多職種連携を学ぶ授業がある」こと、これから行っておいた方が良いことについて、「自分の考えをまとめ、分かりやすい言葉を選んで、相手に伝えること」など、生徒の今後に繋がるお話をしてくださりました。最後に、生徒一人ひとりと対話し、励ましてくださりました。

岩本先生の講義を通し、自分の進路、これから自分たちが関わる方に向き合う姿勢を学ぶとても貴重な機会になりました。ご指導、ありがとうございました。

